

ヨーク大学日本語科第四学年読解教材

AS/JP4000 6.0 Advanced Readings in Modern Standard Japanese Japanese Studies, DLLL, York University

「信じている者と信じていない者」 Believers and Non-believers

極端な単純化を許してもらえるなら、この世の中には大きく分けて二種類の人がいるように思う。いわゆる「信じている」者と「信じていない」者である。前者は、宗教に限らず、思想、理論、学説、政治体制、哲学など、どんな分野でも絶対的なものとして何かを信ずる人たちで、後者は、何にしてもそういう風には考えられない人たちと言ってよいであろう。

もちろん、実際の世界では、この区分はそれほどはっきりしているわけではない。例えば、いわゆる無神論者の場合を見てみよう。彼らは、神が存在しないということを中心し、信じているのではなからうか。また、懐疑主義者も、すべてのものは相対的であるから、絶対的なものはないと、相対主義を信じているきらいがある。自由とか平和とか人権などという理想主義的な概念にしても、これらを恒久的に不変の価値として認め、金科玉条のものとして信ずるところに気付かない落とし穴があるように思える。アメリカのブッシュ政権が北朝鮮とイランとイラクを「邪悪な帝国」と名指しで呼んだのなど、自分たちの北米風の価値観を普遍的なもの信じ、世界すべてに当てはめようとした結果に他ならない。中東での紛争も含めて、同じセム系のユダヤ教・イスラム教・キリスト教の狂信者たちが三つ巴で、争っている様相はある意味で凄まじいものがある。三者とも信じているから、始末に悪い。彼らは、絶対に後に引かないし、妥協を拒むからである。確かに、アメリカの政策は、石油の確保が一番大きな目的であるという説も納得できるが、それは一面だけを見ているのではないか。

信じている者とは、その対象についての対話は成り立たない。これは、右翼にも左翼にも見られる現象である。昔の共産主義者や核マル三派、赤軍派、民青などといった組織に入っている人たちは、批判をされると、「日和った」などと弾劾されたものである。それが嵩じて、内部で粛清などと言って人殺しまでしたのである。オーム真理教を例に出すまでもないが、宗教的ないわゆるカルトは世界中に枚挙に暇がないほどである。旧聞に属するが、ガイアナでのジム・ジョーンズの信者たちの死は強制自殺及び殺人が多かったようである。死ねば天国に行けると信じて子供まで殺す親がいるというのは、鬼気迫るものがある。常軌では考えられないことであるが、最近でも同じ理由でアメリカの母親が子供を殺した例が報道されている。妊娠中絶に関する「生命保護論者」と「選択保護論者」の確執は、最近ではあまり報道されなくなったが、前者の中から人工中絶を行う医者射殺する者が出た事実は、自分が正しいと信じていれば殺人さえも辞さないという狂信主義としか呼びよのない「精神状態」の悲しい結末を物語っている。

生理学的に「信じている脳」と「信じていない脳」を比較すると、どんな違いがあるかというのは非常に興味深い問いであるが、心理学的に見てみると、多くの人が、生きるよすがとして何かを信じていることはすぐ見て取れると思う。人間は何かを信じていなければ生きていられないという説がある。昔ミシガン州立大学にいた折、ヨルダンから来ているパレスチナ人の女性、教育博士号をやっていたと思うが、何かの話で、私が、神の存在を信じていないと言うと、「神を信じないでどうやって生きていけるのか」と、まさに驚愕の目で見られた経験がある。本人は真面目で、神を信じない人間に初めて会ったのだそうである。私は、冗談半分に、「だって今まで何とか生きてきたよ」と言ったように記憶しているが、この異文化間交流を彼女がどう受け取ったかは定かではない。

私は、信じることはみな悪いと言っているわけではない。自分で何かを信じても、それを人に強要・強制しない人も多くいる。ただ、現状を見てみると、信じている者と信じていない者との間よりも、信じている者同士の間で確執や衝突が社会や世界の平和を脅かしているように思える。信じていない者にとっては、それらは遠い存在のように感じられる。根幹にあるのはやはり、自分のみが正しいという排他的な自己主張であり、変化を取り入れていくことが不可能な閉ざされた価値体系と言えるであろう。程度の差こそあれ、これは、信じるという行為の必然的な帰結である。と言うのは、何かを信じるということは、それが唯一至高のものだという価値判断であるので、当然排他的になり、独善的になる傾向が先天的に存在するからである。

それではどうしたらよいか。人類愛とか世界平和というような普遍的と見える価値を信じて行動する人もいる。確かに、これであつたら、「信じている」者も「信じていない」者も協同できる。戦争や災害による難民救済事業などそのいい例である。このように、はっきりとした目標を定めて、短期的な事業を遂行するというのは非常に実利的で効果的な戦略であると思う。

私は、「信じている」者の心理構造「メンタル・レプリゼンテーション」はどうなっているのだろうかかと常々疑問に思ってきた。大脳生理学の専門家に聞いてみたいものであるが、「信じていない」者のそれとはだいぶ違っているだろうことは想像に難くない。信じている場合は、その信じている対象については、他者との議論の余地がまったくない。信じていない者から見るとコミュニケーションの断絶である。私は、信じている者の問題の核心はここにあると思っている。確かに、何か信じること、心のよすがとなるものがないというのは、常に価値判断とそれに基づく選択を迫られる現代生活においては、厳しいことである。もちろん、聖書やコーランを信じていれば、問題ないなどと言う気はさらさらないが、判断の基準となるものがあるというのは、大分違うであろう。信じていない者は、大洋の真中で小船に揺られているようなものである。判断・行動は、是々非々でこなしてゆかなければならない。私は自分でもこうしてきたと思う。何かを信じることで、自分に色眼鏡をかけることになるのを恐れ、特に大学の教員はこのような立場でいなくてはいけないのではないかと思ったからである。では、その判断の基準は何か。まず、自分の育った文化・教育・家庭環境から得た価値観が影響していることは想像に難くないであろう。その中に宗教的な要素が入っている場合

もあろうしそうでない場合もあろう。ただ、大学とは、そのような既に与えられた知識を偏見なしに洗い直す場所ではないか。そのためには、本からの知識だけではなく、実践による経験的知識も大切である。そしてこのプロセスは生きていく限り続けていかなければならないと思う。社会・世界は常に変化している。昨日の常識が今日はそうでないということはまある。結局自分なりの価値体系を作り上げていくことが一番大切であると思う。特にこの国際化の時代には、一つの基準で物事を判断することは不可能になっている。私は、文化相対主義者でもない。それぞれの文化に良いところと悪いところがある。それが判断できるためにも、批判的精神を養うことが現代焦眉の急の問題になっている。

2004年

トロントにて

太田徳夫

「語彙」

極端(な)	きよくたん(な)	extreme
単純化(する)	たんじゅんか(する)	simplify
許す	ゆるす	allow
種類	しゅるい	kinds, types
前者	ぜんしゃ	the former
宗教	しゅうきょう	religion
限る	かぎる	limit
思想	しそう	thoughts
理論	りろん	theory
学説	がくせつ	academic theory
政治体制	せいじたいせい	political system
哲学	てつがく	philosophy
分野	ぶんや	field
絶対的(な)	ぜったいてき(な)	absolute
後者	こうしゃ	the latter
実際	じっさい	real, actual
区分	くぶん	distinction
例えば	たとえば	for example
無心論者	むしんろんしゃ	atheist
場合	ばあい	case
神	かみ	god
存在(する)	そんざい(する)	exist
主張(する)	しゅちよう(する)	claim
懐疑主義者	かいぎしゅぎしゃ	skeptic, agnostic
相対的(な)	そうたいてき(な)	relative

相対主義	そうたいしゅぎ	relativism
きらい		tendency
自由	じゆう	freedom
平和	へいわ	peace
人権	じんけん	human rights
理想主義的(な)	りそうしゅぎてき(な)	idealistic
概念	がいねん	concept
恒久的(な)	こうきゅうてき(な)	permanent, ever-lasting
不変	ふへん	immutable, unchangeable
価値	かち	value
認める	みとめる	recognize, accept
金科玉条	きんかぎよくじょう	golden rule
落とし穴	おとしあな	pitfall, trap
政権	せいけん	regime
北朝鮮	きたちょうせん	North Korea
邪悪(な)	じゃあく(な)	evil
帝国	ていこく	empire
名指しで	なざしで	name
呼ぶ	よぶ	call
北米風	ほくべいふう	North American style
価値観	かちかん	value orientation
普遍的(な)	ふへんてき(な)	universal
結果	けっか	result
(～に)他ならない	(～に)ほかならない	nothing but ~
紛争	ふんそう	conflict
含める	ふくめる	include
セム系	セムけい	Semitic
狂信者	きょうしんしゃ	fanatic
三つ巴	みつどもえ	three-cornered fight,
triangular contest		
争う	あらそう	fight over
様相	ようそう	appearance, state of affairs
意味	いみ	meaning
凄まじい	すさまじい	be frightful
始末に悪い	しまつにわるい	be intractable
絶対(に)	ぜったい	absolute(ly)
後に引く	あとにひく	back off
妥協(する)	だきょう(する)	compromise
拒む	こばむ	refuse
確か(な)	たしか(な)	certain
政策	せいさく	policy

石油	せきゆ	oil
確保(する)	かくほ(する)	secure
目的	もくてき	purpose
説	せつ	theory, thought
納得(する)	なっとく(する)	be convinced
一面	いちめん	while
対象	たいしょう	target, object
対話(する)	たいわ(する)	dialogue
成り立つ	なりたつ	be established
右翼	うよく	right wingers
左翼	さよく	left wingers
現象	げんしょう	phenomenon
共産主義者	きょうさんしゅぎしゃ	communist
核マル三派	かくマルさんぱ	the Three Sects of the
Revolutionary Marxist Group		
赤軍派	せきぐんは	Red Army Group
民青	みんせい	Young Communist Group
組織(する)	そしき(する)	organize
批判(する)	ひはん(する)	criticize
日和る	ひよる	compromise
弾劾(する)	だんがい(する)	accuse
嵩じる	こうじる	heighten
内部	ないぶ	internal
粛清(する)	しゅくせい(する)	purge
人殺し(する)	ひとごろし(する)	murder
オーム真理教	オームしんりきょう	<i>Aum Shinrikyo</i>
宗教的(な)	しゅうきょうてき(な)	religious
カルト		cult
枚挙に暇がない	まいきょうにいとまがない	cannot list all
旧聞に属する	きゅうぶんにぞくする	belong to old news
強制自殺	きょうせいじさつ	forced suicide
鬼気迫るものがある	ききせまるものがある	be dreadful
常軌	じょうき	norm
報道(する)	ほうどう(する)	report
妊娠中絶	にんしんちゅうぜつ	abortion
生命保護論者	せいめいほごろんしゃ	pro-lifer
選択保護論者	せんたくほごろんしゃ	pro-choice supporter
確執	かくしつ	conflicts
人工中絶(する)	じんこうちゅうぜつ(する)	abortion
射殺(する)	しゃさつ(する)	shoot to kill
事実	じじつ	fact

～さえも辞さない	～さえもじさない	do not hesitate to ~
狂信主義	きょうしんしゅぎ	fanaticism
～としか呼びようのない	～としか呼びようのない	cannot help but call ~
精神状態	せいしんじょうたい	mental condition
悲しい結末	かなしいけつまつ	tragic end
物語る	ものがたる	tell
生理学的(な)	せいりがくてき(な)	physiological
脳	のう	brain
比較(する)	ひかく(する)	compare
興味深い	きょうみぶかい	interesting
問い	とい	question
心理学的(な)	しんりがくてき(な)	psychological
生きるよすが	いきるよすが	reason of living
見て取れる	みてとれる	detect
折	おり	occasion
教育博士号	きょういくはかせごう	Doctor of Education
驚愕(する)	きょうがく(する)	be flabbergasted
経験(する)	けいけん(する)	experience
真面目(な)	まじめ(な)	serious
冗談半分(に)	じょうだんはんぶん(に)	jokingly
記憶(する)	きおく(する)	remember
異文化間交流	いぶんかかんこうりゅう	cross-cultural exchange
受け取る	うけとる	understand, accept
定か(な)	さだか(な)	sure
強要(する)	きょうよう(する)	force
強制(する)	きょうせい(する)	force
現状	げんじょう	current situation
衝突(する)	しょうとつ(する)	crash
脅かす	おびやかす	threaten
根幹	こんかん	foundation
正しい	ただしい	correct
排他的(な)	はいたてき(な)	exclusive
自己主張(する)	じこしゅちょう(する)	self-claim
変化(する)	へんか(する)	change
取り入れる	とりいれる	accept
不可能(な)	ふかのう(な)	impossible
閉ざす	とざす	close
価値体系	かちたいけい	value system
程度	ていど	degree
差	さ	difference
行為	こうい	deed

必然的(な)	ひつぜんてき(な)	inevitable
帰結	きけつ	consequence
唯一	ゆいいつ	unique
至高	しこう	sublime
価値判断	かちはんだん	value judgment
当然	とうぜん	natural
独善的(な)	どくぜんてき(な)	self-centered
傾向	けいこう	tendency
先天的(な)	せんてんてき(な)	a priori
人類愛	じんるいあい	human compassion
世界平和	せかいへいわ	world peace
行動(する)	こうどう(する)	action
協同(する)	きょうどう(する)	cooperate
戦争(する)	せんそう(する)	war
災害	さいがい	calamity
難民救済事業	なんみんきゅうさいじぎょう	refugee rescue project
目標	もくひょう	target, goal
定める	さだめる	set
短期的(な)	たんきてき(な)	short-term
事業	じぎょう	project
遂行(する)	すいこう(する)	carry out
非常(な)	ひじょう(な)	extreme
実利的(な)	じつりてき(な)	practical
効果的(な)	こうかてき(な)	effective
戦略	せんりやく	strategy
心理構造	しんりこうぞう	psychological representation
常々	つねづね	frequently
疑問に思う	ぎもんにおもう	question
大脳生理学	だいのうせいりがく	cerebral physiology
専門家	せんもんか	expert
想像に難くない	そうぞうにかたくない	can imagine easily
議論の余地	ぎろんのよち	room for discussion
断絶	だんぜつ	gap
核心	かくしん	core
価値判断	かちはんだん	value judgment
基づく	もとづく	be based on
選択(する)	せんたく(する)	choice
迫る	せまる	urge
現代生活	げんだいせいかつ	present-day life
厳しい	きびしい	severe
聖書	せいしょ	Bible

コーラン		Koran
～と言う気はさらさらない		have no intention of saying ~
基準	きじゆん	norm, standard
大洋	たいよう	ocean
真中	まっただなか	in the middle of
小船	こぶね	small boat
ゆられる		be tossed around
行動(する)	こうどう(する)	act, action
是々非々	ぜぜひひ	unbiased policy
色眼鏡をかける	いろめがねをかける	judge with preconceptions
恐れる	おそれる	be afraid of
家庭環境	かていかんきょう	family environment
影響(する)	えいきょう(する)	influence
要素	ようそ	factor
既に	すでに	already
偏見	へんけん	bias
洗い直す	あらいなおす	re-examine
知識	ちしき	knowledge
実践(する)	じっせん(する)	put into practice, practise
経験的知識	けいけんてきちしき	experiential knowledge
常識	じょうしき	common sense
ままある		(it) happens
価値体系	かちたいけい	value system
国際化	こくさいか	internationalization,
globalization		
文化相対主義者	ぶんかそうたいしゅぎしや	supporter of cultural
relativism		
批判的精神	ひはんてきせいしん	critical mind
養う	やしなう	nurture
焦眉の急	しょうびのきゅう	urgent matter